

【特 集】

行政データを活かす

子ども・教育データを活かす

健康データを活かす

——部署間連携型共同研究による被保護者
健康管理支援データの活用——

税務データの研究利用可能性と EBPM

市町村に対する介護予防のためのデータ活用
支援の効果



基礎自治体において、エビデンスに基づく政策形成（EBPM）が重要視されて久しい。行政事務などで定期的に収集する行政データの積極的な分析と活用は、国内の学術分野においても進みつつある。近年は、複数の部署が所管しているデータを横断的に共有・接合し、政策形成に活かす事例も注目されている。

実際、いくつかの基礎自治体では、大学や民間研究機関などと連携しながら先行的に行政データの利活用を進めている。しかし、行政データの横断的な接合や分析、その結果をふまえた政策の検討を実際の政策形成プロセスのなかに落とし込むとなると、課題は少なくない。

行政データの横断的な利用により何がわかり、どのようなメリット・有用性があるのか。何が課題となり、どのような対応が求められるのか。基礎自治体をフィールドとした具体的な実践例を交えながら考える。

